

8. パートナーとの関係の満足度

Q12（父親）、Q13（母親）

子育て、家事に関して配偶者（パートナー）の間ではどのようにしていますか

この質問は、配偶者やパートナーがいる父親、母親の回答を有効回答としている。以下、「配偶者（パートナー）」を「配偶者」と記述する。

「子育て、家事に関して配偶者との間ではどのようにしていますか」として、6項目（①～⑥）の質問について、「あてはまる～あてはまらない」の4件法で質問をした。また、「あてはまる+ややあてはまる」を肯定的回答とし、分析で示す%の値とした。（一部、「あまりあてはまらない+あてはまらない」の否定的回答の分析あり）

なお、「パートナーとの関係の満足度（6項目①～⑥）」について、「父親・母親の比較」、「母親の有職・無職の比較」、「性別役割分担意識との比較」による分析を行った。また、①～③を行動的サポート、④～⑥を情緒的サポートとして分析した。

その結果、「①私と配偶者は、コミュニケーションがよくとれている」の肯定的回答の割合が82.5%と最も高く、次いで「③私と配偶者は、何か決めるときにはお互いの意見を尊重する」79.1%、「②私と配偶者は、子育てや家事などをお互いに助け合っている」74.6%などとなっていた。

なお、いずれの項目も肯定的回答の割合が6割以上となっている。

ア) パートナーとの関係の満足度 [父親・母親の比較]

「パートナーとの関係の満足度」の肯定的回答について、父親と母親で比較した。

その結果、全ての項目（①～⑥）で、母親よりも父親の方が高かった。

また、父親と母親の肯定的回答で、最も差があったのが、「⑥私の配偶者は、私の気持ちを察してくれる」が約17ポイント、次いで「②私と配偶者は、子育てや家事などをお互いに助け合っている」が母親より父親の方が12ポイント高かった。

このことから、配偶者の「パートナーとしての満足感」が父親に比べ、母親の方が低いことがうかがえる。

次に、①～③の行動的サポートと、④～⑥の情緒的サポートについて、否定的回答を見ると、全体では、④～⑥の情緒的サポートについての否定的回答の割合は、「⑤私の配偶者は、私の子育て・家事をあまりねぎらってくれない」34.8%、「④私は、配偶者の子育て・家事をあまりねぎらっていない」32.2%、「⑥私の配偶者は、私の気持ちを察してくれない」32.1%と、いずれも約3割の人が回答している。

一方、①～③の行動的サポートについての否定的回答は、「①私と配偶者は、コミュニケーションがあまりとれていない」16.7%、「②私と配偶者は、子育てや家事などを互いに助け合っていない」24.4%、「③私と配偶者は、何か決めるときにはお互いの意見を尊重していない」19.8%と、約2割前後の人が回答している。

このことから、情緒的サポートの方が行動的サポートよりも否定的回答の割合が高く、『あ

まりなされていない』と感じている割合が高いことがうかがえる。

また、否定的回答で父親、母親を比較すると、全ての項目における否定的回答の割合が父親より母親の方が高い。中でも、「⑥私の配偶者は、私の気持ちを察してくれない」は母親が40.0%に対し、父親は23.1%とその差が約17ポイントと最も大きく、母親は父親に対し、『思いやり』を求めていることがうかがえる。

単位 %

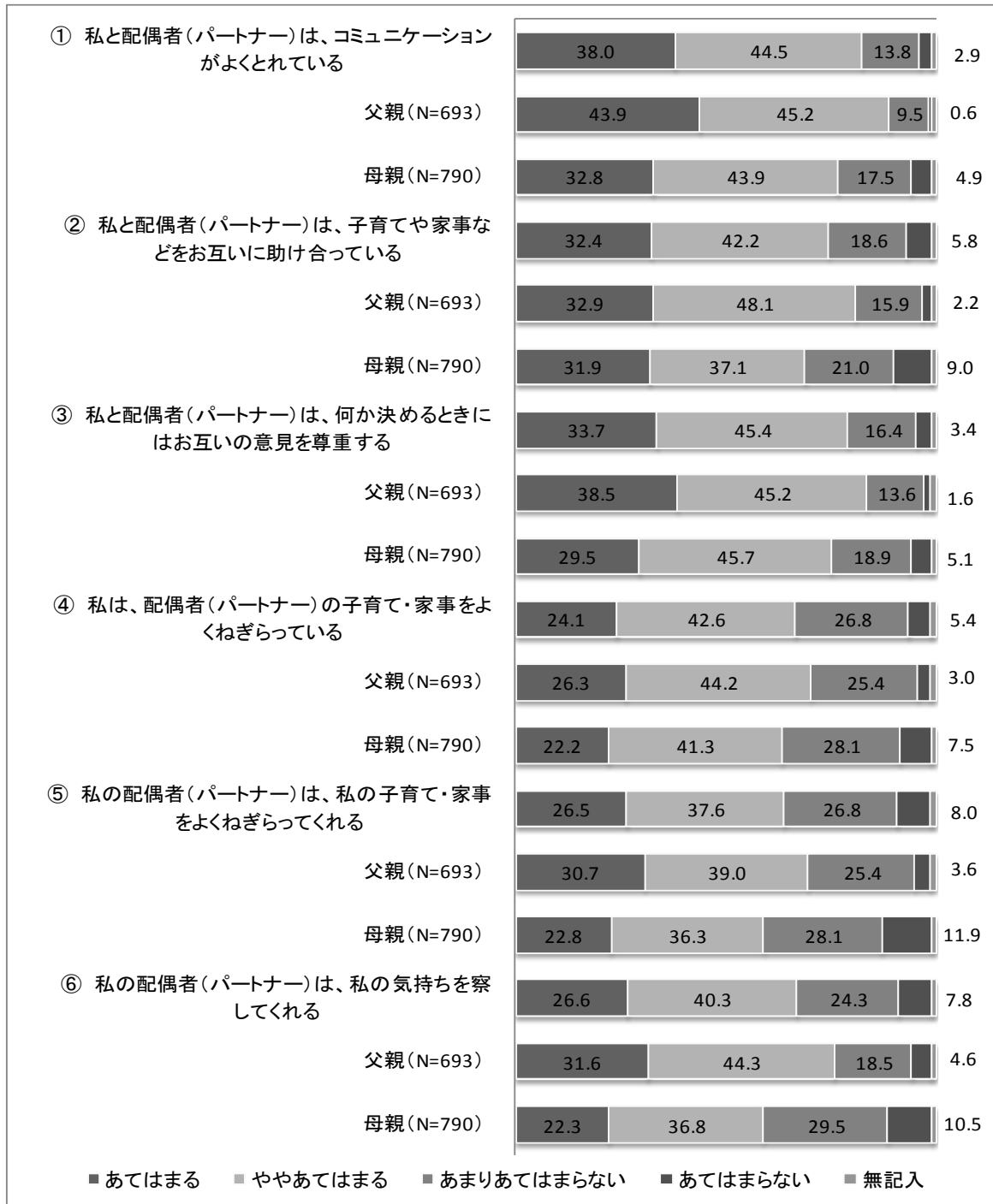


図 13-1 パートナーとの関係の満足度 [父親・母親の比較]

イ) パートナーとの関係の満足度 [母親の有職・無職の比較]

「パートナーとの関係の満足度」の肯定的回答及び否定的回答について、「母親の有職・無職」で比較した。

その結果、全ての項目(①～⑥)において、「有職の母親」が「無職の母親」よりも肯定的回答の割合が高い。

一方で、「無職の母親」を否定的回答の多い順で比較すると、「⑥私の配偶者は、私の気持ちを察してくれない」45.6%、「⑤私の配偶者は、私の子育て・家事をあまりねぎらってくれない」43.9%、「②私と配偶者は、子育てや家事などをお互いに助け合っていない」41.5%と、否定的回答の割合が約4割を超えている。

このことから、「有職の母親」の方が、「無職の母親」よりも配偶者の子育てに関わるパートナーとしての満足感が高いことがうかがえる。

単位 %

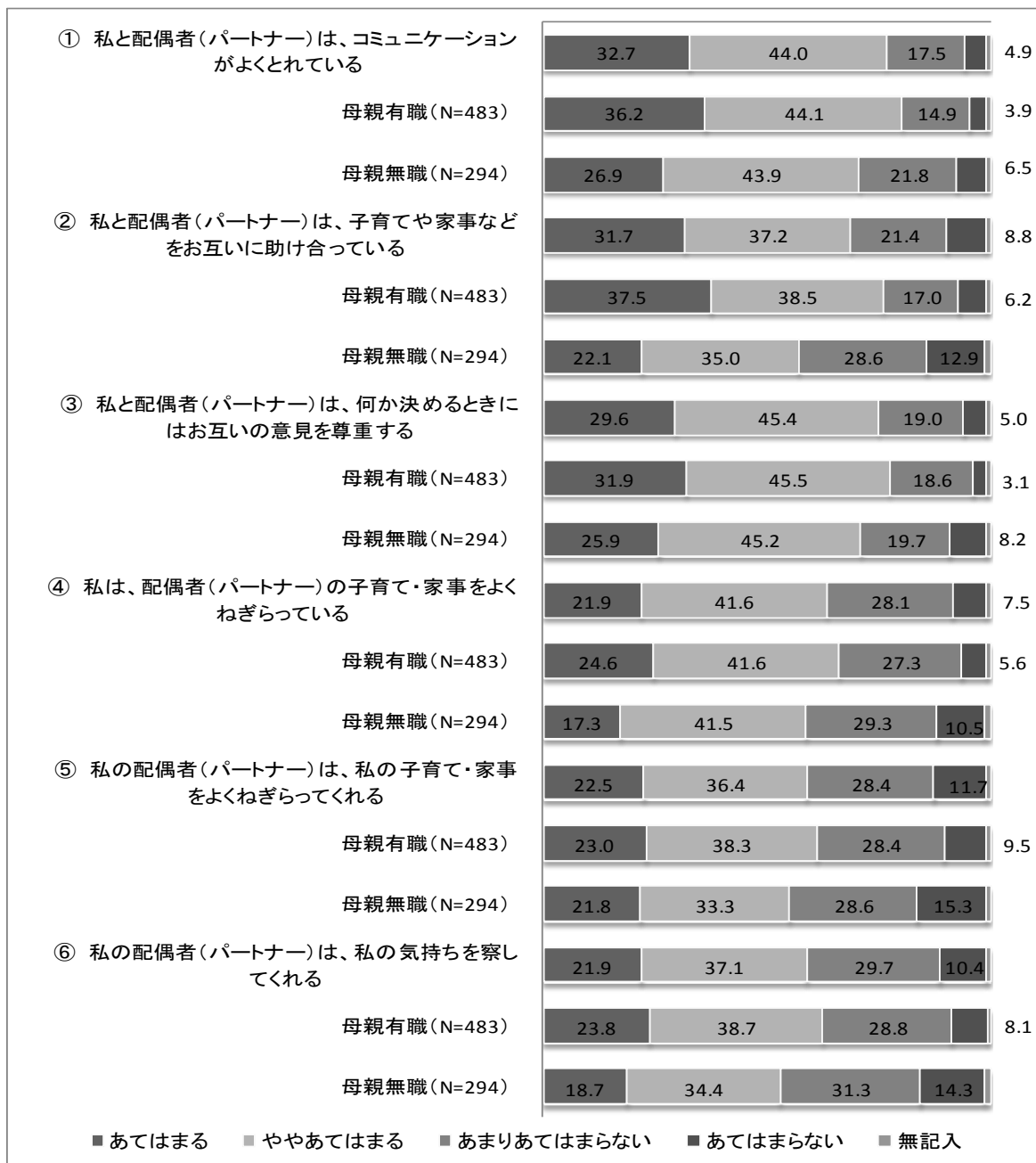


図 13-2 パートナーとの関係の満足度 [母親の有職・無職の比較]

ウ) パートナーとの関係の満足度 【性別役割分担意識との比較】

ここでいう「性別役割分担意識」とは、Q1の「⑦夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」とのクロス集計である。

「パートナーとの関係の満足度」の肯定的回答について、性別役割分担意識との比較をした。その結果、全ての項目（①～⑥）において、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という性別役割分担に反対する者が、賛成する者よりも、各項目における満足度が高い。

また、性別役割分担に賛成の者と反対の者の満足度の差が大きかった項目は父親、母親ともに「②子育てや家事などをお互いに助け合っている」であった。

このことから、性別役割分担意識にとらわれていない父親、母親の方が、パートナー間の満足度が高いことがうかがえる。

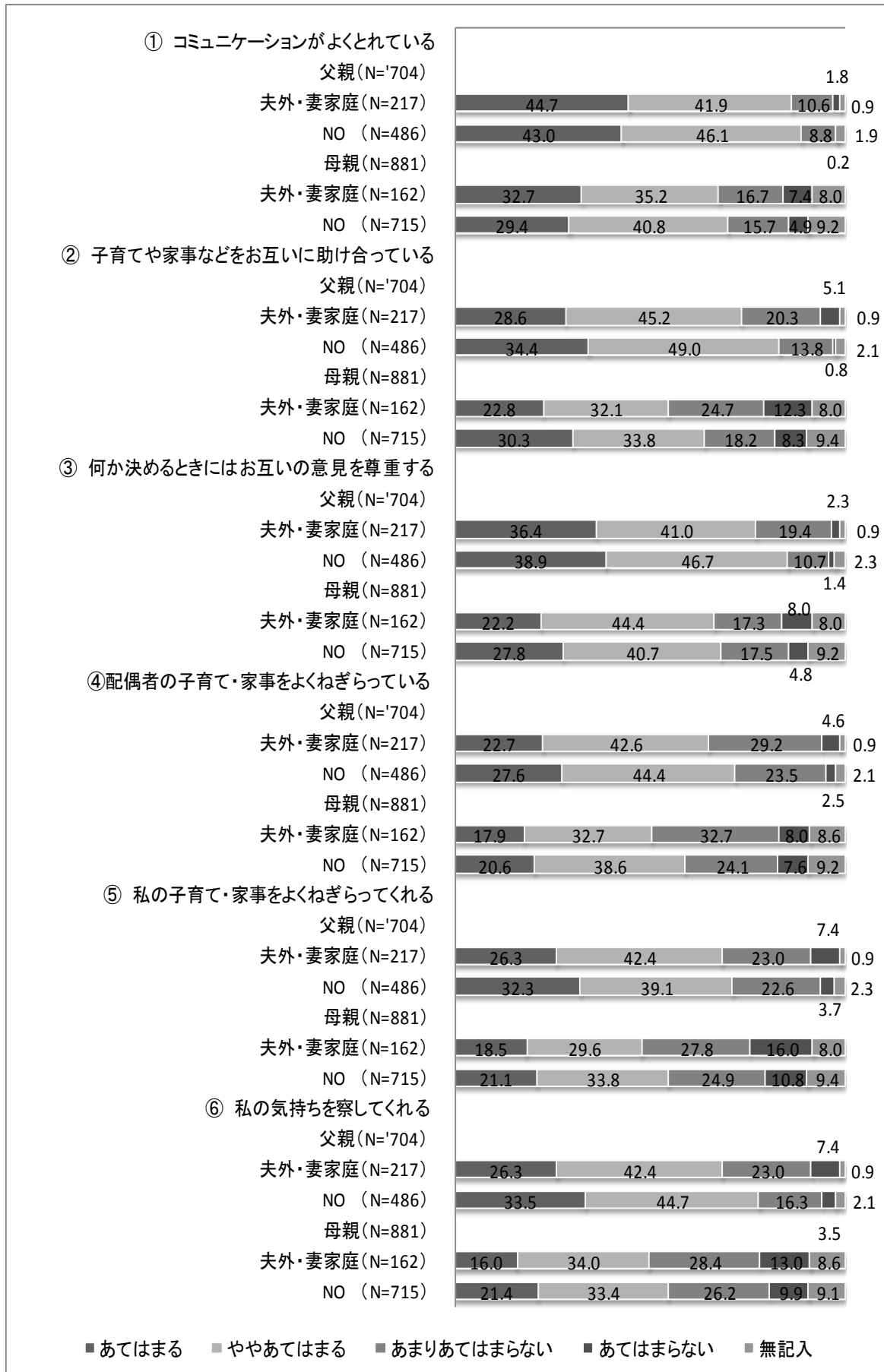


図 13-3 パートナーとの関係の満足度 [性別役割分担意識との比較]